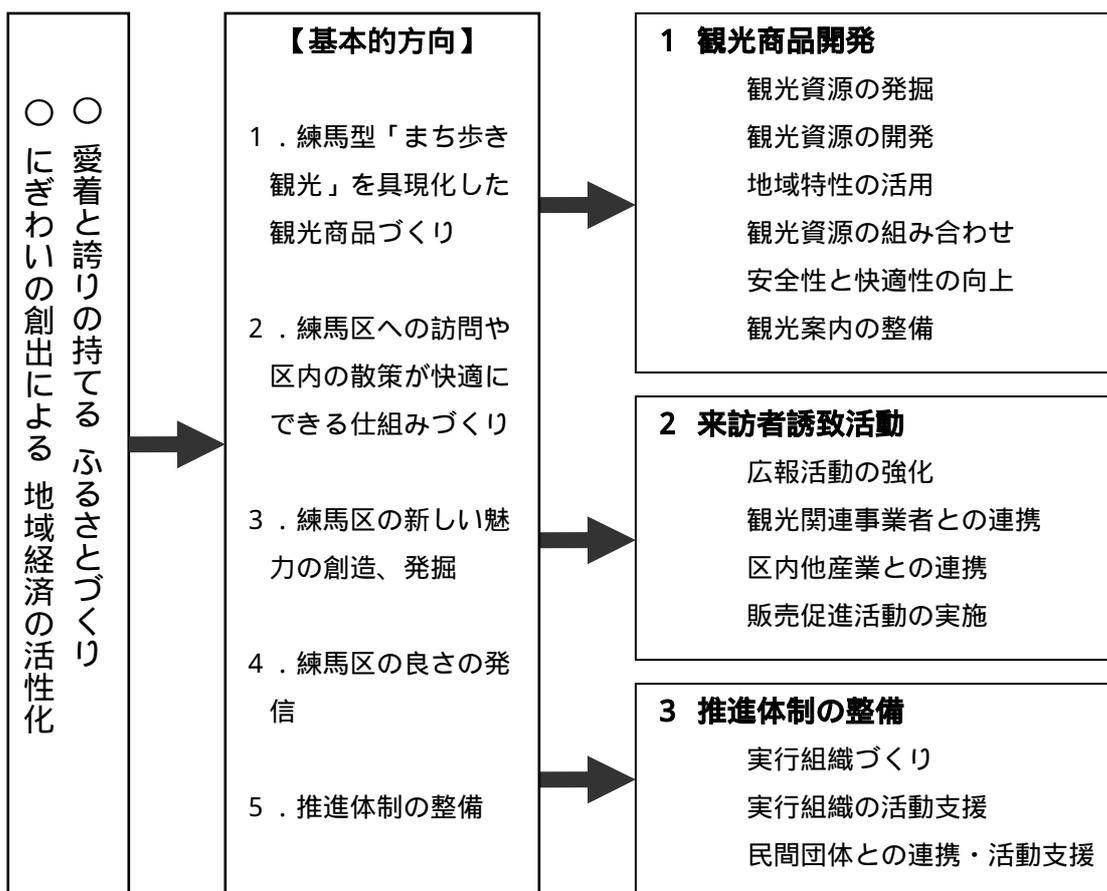


## 練馬区の観光事業案

### 練馬区観光事業の骨組み

練馬区の長期総合計画の目標である「健康と活力あふれる文化のまち ふるさとねりま」に沿い、練馬区の観光事業は練馬区観光ビジョンが示している「にぎわいの創出による地域経済の活性化」および「愛着と誇りの持てるふるさとづくり」を目標としている。この目標を達成するには、来訪者の確保と満足が欠くことのできない条件である。そのためには、観光商品開発を的確に進めるとともに、来訪者誘致活動を効果的、効率的に実施し、各事業を推進するための体制を整えることが必要である。このことから、練馬区の観光事業の骨格は、次のように示される。

図表 4 . 練馬区観光事業の骨組み



## 1 観光商品開発

### (1) 観光商品開発の考え方

観光における商品は、「来訪者に楽しみを提供するシナリオ」である。すべてのビジネスと同様に、観光においても「商品・サービス」を開発することから始まる。練馬区の観光事業を進める第一歩は、「観光商品」を確定することである。

「観光商品」を確定するには、練馬区が持っている個性（地域の歴史・文化、気候・風土に裏打ちされた現在の地域性）を重視することがポイントになる。これらを確認するには観光資源調査を行うことである。練馬区では、平成14年度に「練馬区観光資源調査」を実施している。ただし、資源に関する情報は、常に新鮮であることが求められるので、継続的な事業として《観光資源のチェック》が必要である。

観光資源調査の結果から、練馬区が来訪者に提供するものを検討する必要がある。練馬区の特徴は、「練馬区観光ビジョン」にもあるように、緑豊かな公園や農にふれあう場、伝統的なあるいは特色ある産業、商店街のイベントや地域の祭り、様々な文化財など、都市住民にとって楽しさや安らぎをもたらす資源がバラエティ豊かに存在することにある。

具体的には、「都会(まち)×田舎(農業+自然)」、「先進的なもの×古きよきもの」、「若者向き(活発)×高齢者向き(落ち着き+渋さ)」などである。練馬区の観光商品の優位性は、これらの「融合」が来訪客に与える「おどろき」と「たのしさ」にある。来訪者は、練馬区内を巡ることによって「おどろき」と「たのしさ」を手に入れることができる。

練馬区の「まち歩き観光」商品は、徒歩や自転車で移動できる範囲をエリアとした商品設定が考えられる。また、区内の拠点駅を中心としたエリアを設定し、隣接するエリアにまたがる商品設定も考えられる。

### (2) 観光商品開発に関する事業案

#### 観光資源の発掘

- ・ 観光資源調査で取り上げられている資源の多くは従来型の観光資源であり、「まち歩き観光」の資源としては十分とはいえなかったが、「るるぶ練馬区」の発刊によって補完されたと考えられる。今後も適宜、観光資源の発掘、発見を行っている

く必要がある。

#### 観光資源の開発

- ・ 「練馬らしい」(東京23区内では)貴重な」など、区に特有の主題に包含される個別の素材を誘客の商品として創り出す事業を展開する。区の特徴から、テーマ(アニメ、個性的な街、農、豊かな自然)を選び、商品づくりに向けた事業に取り組む。

#### [ 観光資源の開発の事業例 ]

##### ) アニメを活用したにぎわいづくり

区内には大手の東映アニメーションや虫プロがあり、約80のアニメプロダクションがあるほか、多くの著名なコミック作家も居住していることから、「アニメ」も有力な資源と考えられる。アニメが広く共感されていることなどを勘案して、「ねりまらしさ」を表現する方法としてもアニメを活用したり、イベントや情報発信活動などにおいても、具体的な事業の推進にあたっては、アニメを表現の手段として活用することも考えられる。

##### 事業例1-1 「アニメフェア」の開催

練馬区のアニメの発信、アニメ産業の育成、アニメによる集客を目的として「アニメフェア」を開催する。具体的な内容、準備の進め方については、練馬アニメーション協議会と連携し、アニメ制作の歴史と先端技術の公開、アニメ映画祭などを区内各地に会場を設定して行う。

##### 事業例1-2 「アニメフェスティバル in 大泉」の拡大強化

すでに実施されている「アニメフェスティバル in 大泉」であるが、現状では1~2日と短期のイベントにとどまっている。商店街の活性化に向けて東映アニメーションとの協賛により、6月中旬~7月中旬に「中元商戦=夏休みアニメ大会」、2月中旬~3月中旬に「春物商戦=春休みアニメ大会」などのタイアップキャンペーンを実施する。イベント期間は約1か月間とし、期間中に様々なアトラクション(例:「練馬区にちなんだ商品(ねりコレ)」、「練馬大根」などのシンボルキャラクターづくりに向けたコンテスト、原画の直売、作家のサイン会など)を計画してアクセントをつける。

大泉地区以外でも商店街の要望があれば、具体的方法について検討する。

### 事業例 1 3 「アニメ展示コーナー」の開設

区施設内に「アニメ展示コーナー」を設置し、アニメに関する様々なもの（原画、キャラクターグッズ、フィギュア、衣装など）を展示する。このコーナーの運営は練馬アニメーション協議会の協力を得てイベント（作家のサイン会、こどもアニメ教室、コスチューム撮影会など）や企画展を開催する。

### 事業例 1 4 「アニメキャラ・コスプレ大会」の開催

アニメキャラクターの衣装（コスチューム）を着けて、キャラクターになりきろうとする趣味を持つ人は少なくないが、その趣味を披露する場は少ない。区内で開催することで練馬区とアニメの関連を強調する好機となる。現在、としまえんを会場とした同種のイベントは既に行われているが、会場内でのイベントにとどまっているので、他のアニメ関連イベント（全国からアニメファンが集まる「コミックマーケット」など）に合わせて開催する。このイベントは区内の団体（練馬アニメーション協議会など）が主催するものとして開催することが望ましい。

### ) 「個性的な街」づくり

観光振興は、区内経済の活性化も目的の一つであり、訪れてみたくなる地域の発掘、まちの創造を進めていくことが必要である。

### 事業例 2 1 「歩きたい通り」づくり

第1段階として、例えば「歩きたい通り」を募集し、季節、天候、タイミング別に選出する。

例：春先・桜の時期・初夏・紅葉（枯葉）の時期・木枯らしの時期など

例：朝の散歩・午後・夕日の頃・日没後

第2段階では、区内を地区に細分し、それぞれの地区住民および通勤・通学者が任意にグループを形成して地区内の「通り」を選び、第1段階で選定した「歩きたい通り」を参考にしながら、地区内の「通り」を、「歩いて気持ちの良い（楽しい／明るい）通り」に変えるためのアイデアを発表する。発表されたアイデアから地区ごとに選択し、地区住民（通勤・通学者を含む）による事業として具体化を図る。

第3段階で事業に着手する。事業期間は、1年間程度を目途とするが、事業によっては多年度にわたることも考えられる。

### 事業例 2 2 「ユニークな商店街」づくり

商店街の「にぎわいづくり」を目的とした事業であることが条件になるが、区内の商店街に実施してほしい個性的な事業、または、「こんな商店街であってほしい」という要望や提案を区民から公募する。例えば、週末ごとに簡単なイベント（例：

商店街の商品やポイントカードを賞品にしたクイズ大会、ストリートパフォーマーにステージを用意する、区民のフリーマーケットなど)を開催する、午後の早い時間帯にシルバーサービスを実施する、いつ訪れても、どこかの店舗がタイムサービスを行なっているなどの提案があると楽しい。その内容を踏まえ、各商店街において具体化を図っていく。

### 事業例 2 3 民間による地区別振興事業の推進

観光事業を推進するためには、区内各地区が、それぞれの地区にふさわしい事業を立ち上げ、推進することが重要なポイントとなる。各地区から推進したい事業案を募り、支援のあり方を検討する。

一定以上のまとまりのある地区組織(最小単位は2以上の商店会による連合体)が当該地区への来訪者誘致活動に関する事業を提示し、区が「地区観光振興事業」と認定することによって、その事業の推進を支援する。

前向きに観光事業に取り組もうとしている地区組織が事業提案を行うための支援として、専門家の派遣などの制度を検討する。

当該事業の推進にあたっては、区が支援する。支援の内容は情報・ノウハウの提供、他産業との連携促進、専門家派遣が主となるが、経費面の支援も検討する。

### 事業例 2 4 「まちかど産業館」づくり

区内には、台所を支える食品である漬物、味噌といった東京23区内には数少ない食品加工業や江戸時代からの技を現在に継承する伝統工芸の匠が存在する。一部は「ねりまの名品21」や「練馬区にちなんだ商品(ねりコレ)」に取り上げられているが、これらの食品や工芸を展示販売する「まちかど産業館」として整備し、「まち歩き」の立寄り箇所とすることによって、まちの魅力向上につなげる。

#### )「農」(農地、農産物)を活用する

農地は、都市における緑の保全としての役割を担うとともに、都市住民にとって、土に親しみ、農に触れ合え、収穫の喜びが得られる貴重な観光資源であるが、実施者の意向が最優先するので、確認しながら推進する。

### 事業例 3 1 「ファーマーズマーケット in ねりま」の開催

区内に点在する直売所は人気を得ているが、「ねりまの新鮮野菜」の認知をさらに広げるため、毎月1回、第 曜日(週末が望ましい)と決め、区内農産物の直売会を開催する。早朝から始めて昼前に終了とし、季節ごとに異なる種類を店頭に並べ、「朝とり野菜市(「だいこん市」、「キャベツ市」など)」として、新鮮さを訴えるものとする。市民農園の利用者も参加できる。想定される会場は、駅近くにスベ

ースがある光が丘または大泉地区と考えるが、4箇所の共同販売所での巡回開催も考えられる。

通常の直販日との違いとして、購入した野菜をその場で食べられるように、簡単な調理の場（炭火焼や鉄板焼き用のコンロ）を準備したり、「ベジタリアンのヘルシーメニューコンテスト」を開催し、区内のレストラン業者を集め、オーディション形式でメニューに加えることも考えられる。

### 事業例3 2 「大根」をテーマとしたイベントの開催

「練馬大根」は練馬区の地名と密接につながって全国に知られており、練馬区のブランド商品の一つである。また、「大根」は地名と合わさって（桜島、聖護院、守口、三浦など）各地の特産品となっている。これらの大根の特徴的な料理方法、加工方法を集め、展示・即売する。

キックオフイベントとして「大根サミット」を開催する。全国の大根を展示、販売するとともに、「大根シンポジウム」を開催し、食材としての大根、健康面からみた大根の特性などを多くの方に知ってもらう機会とする。

### 事業例3 3 「掘り採り観光」の推進

都心近くに農地があるという立地の優位性を活かして、各種の産品の掘り採り観光を推進し、「ねりまの農産物」をより広く認知してもらう。ブルーベリーは現在作付け中で、3年後には実施できるとのことであるが、果実に限らず、キャベツなどの野菜も対象として検討する。

### )「豊かな自然」づくり

練馬区には東京23区内屈指の豊かな自然がある。区内の豊富な植物資源を「練馬区全体が植物園」と位置づけ、憩いの森、公園、雑木林に見られる野草や樹木を紹介するとともに、自然の豊かさを活かし、区民や来訪者に感動を与える商品開発を行う。

### 事業例4 1 「自然のある空間」さがし

練馬区の大きな特性である東京23区屈指の自然を保有する区であることを知らしめるため、区内の自然景観を対象とした写真展、絵画展を開催する。

人が「自然」を感じるのは「緑（木、草、花などの植物）」、「水（池、川）」、「土（田畑、野原）」の3要素であり、付け加えるならば「空気」である。「緑」、「水」、「土」を主題とした写真、絵画を公募し、展示会を開催する。また、パンフレット等への使用許諾権は区が利用できるようにしておく。この展示会の結果は、「季節の花マップ」、「土と水のある空間マップ」のように、新たな観光素材の発掘にもつな

げることができる。

#### 事業例4 2 区民の活動による「快適な空間」づくり

練馬区の豊かな自然を活用し、憩いの森や公園を「快適な空間」とするとともに、観光資源の発掘や来訪者案内のために、自然に興味を持つ活動グループや専門知識が豊富な人などから「自然案内人」を選任し協力を求めることが考えられる。

また、来訪者が歩く「道端」を整備し、快適な空間としておくことも大切である。街路樹や植え込みのある歩道、街角にある小さな花壇などは、街を訪れる人の目を楽しませ、気持ちを和ませるものになる。花壇は道路の状況により、「地植え」だけでなく「プランター」でもよい。重要な留意点は「手入れ」を怠らないことである。地区のボランティアあるいはシルバー人材センターなどの人材を活用するのも一つの方法である。

区内各地区の住民グループから、「快適な空間」づくり事業を公募し、事業内容を審査して実施する事業を決定する。事業の実現に向けた支援内容も検討する。

地味な事業であるが、観光素材として活用することを前提として実施する。

#### 事業例4 3 「ホタルが飛び交う水辺」づくり

自然や緑を紹介するガイドマップの作成を進めるとともに、川辺、公園・広場、道路など、公共の地域の植樹、緑化など自然の保護と回復を進める。

治水の方法として、最近では水辺の生態系を回復しようとする考え方があり、「ホタルが飛び交い、メダカが泳ぐ水辺」、「ミズスマシやゲンゴロウが棲む池」、「カワセミと出会う公園」というような表現が優れた環境を表す言葉として使われている。練馬区が優れた自然環境の街であることをアピールするためにも、「遊歩道」を整備するとともに、さらに「自然づくり」に積極的に取り組んでいくことである。

#### 地域特性の活用

- ・ 練馬区は面積が広く、地域ごとの特性があるので、ひとつのコンセプトに限定せず、地域ごとのコンセプトを設定する。
- ・ テレビ番組の「小さな旅」、「ぶらり途中下車の旅」、「アド街ック天国」などにみられるように、街中を歩くことによる「発見」は少なくない。テレビ番組で紹介されるのを待つことなく、その地区を歩くことの楽しさや思いがけない発見をホームページ上で紹介する。

#### 観光資源の組み合わせ

- ・ 区のホームページでは、平成4年に設定された散策コースの「ねりまの散歩道」が紹介されている。今後は、それらに加えて、区内各地域の特性に注目し、「まち歩き観光」に適したスポットも取り上げる。
- ・ 観光ルートの設定にあたり安全性と快適性について点検する。
- ・ 来訪者が目的とする地点、目的とする対象施設などへの、練馬区内の最寄り駅からのルートをわかりやすく示すためのガイドマップ、案内板・案内標識の整備、地元の人による情報提供や説明を受けることで興味・関心を高める効果をもつ「ボランティアガイド」の活用は、来訪者の好感度を獲得するうえでも必要である。
- ・ 「まち歩き観光」では、来訪者にとって地元の人々との交流は、まちに対する好感度に大きな影響力を持つ。
- ・ 練馬区は、その平坦な地形などから自転車による移動に適していると考えられる。「ねりまタウンサイクル」の来訪者への活用を進める。なお、「サイクリング」を移動方法の前提とする商品を設定すれば、その拠点駅には「ねりまタウンサイクル」のステーション整備や返却地点の自由化などの仕組みの見直しが必要になる。
- ・ この事業の目指す方向は「まち歩き観光」であり、公共交通機関と徒歩または「ねりまタウンサイクル」の利用などを基本とし、自家用車での来訪者に対しては、区内の大型駐車場（練馬、石神井公園、大泉学園など）と「ねりまタウンサイクル」によるパーク＆ライド方式の活用を図る。

[ 観光資源の組み合わせの商品例と事業例 ]

商品例 = 武蔵野の面影を求めてサイクルとウォーク

○ 大泉学園駅 大泉学園駅周辺の商店街 稲荷山憩いの森 清水山憩いの森 大泉学園通り 大泉学園駅

- \* 憩いの森への途中で「土支田農業公園」を覗いてみてもよい。
- \* 大泉学園通りは桜並木で有名であるが、通り周辺の店舗に立ち寄りながら駅への道をたどるのも楽しい。
- \* 大泉学園駅周辺には、老舗やエスニックなど多様な飲食店が集まっている。楽しい一日を振り返りながら、好みのレストランを選んで食事ができる。

事業例：ねりまタウンサイクルの活用

事業例：サイクリングコース向けガイドマップの作成

事業例：サイクリングコースの整備

商品例 = 緑豊かな大泉井頭公園・白子川の散策と東映アニメーションギャラリー

○ 保谷駅 駅周辺の商店街 大泉井頭公園 白子川遊歩道 牧野記念庭園 ゆめりあ2（ショッピング施設） 大泉学園駅 東映アニメーションギャラリー 大泉学園駅周辺の商店街 大泉学園駅北口

- \* 東映東京撮影所に隣接する「OZ STUDIO CITY」はシネコン（9スクリーン）やレストラン、ゲームコーナーのあるアミューズメント施設。
- \* 大泉学園駅周辺については《商品例》に同じ。
- \* 大泉学園駅北口には、コミックスと同名のこだわりのバーがある。一日の締めくくりに立寄ってみたいところ。平日か土曜日なら、軽い食事が充実しているアメリカンスタイルのショットバーも良い。

事業例：アニメの活用

地域活性化へのアニメの活用について

- \* 地域活性化にアニメを活用する例は少なくない。鳥取県境港市（ゲゲゲの鬼太郎）、福井県敦賀市（宇宙戦艦ヤマト）が、メインストリートにアニメキャラクターの像を設置してから10年近く経過している。
- \* アニメが日常生活に定着し、文化としても広く認知されるようになったのは最近のことであるが、ここに来て、都内の商店街での活用事例が見られるようになってきた。
- \* 区内に多くのアニメプロダクションがあり、多くの著名なコミック作家も居住している練馬区としても、アニメを十分に活用することは必然性の高いものと考えられる。

事業例：川岸遊歩道の整備

商品例 = 関町から上石神井へ、閑静な住宅街と石神井川沿いの並木道を歩く

- 武蔵関駅 武蔵関駅周辺の商店街 庚申橋 石神井川沿いの並木道 扇橋 上石神井駅周辺の商店街 上石神井駅
- \* この辺りには花店やガーデニング関係の店も多い。西豊城橋から北へ 150m程にあるガーデニングショップは規模も大きく一見の価値あり。
- \* 武蔵関駅周辺には、和菓子、着物店など和風の店が多く、評判の「手打ちそば屋」もあるので、時間帯によっては腹ごしらえをしてから出発するとよい。
- \* 「武蔵関公園（関町北）」や「観音山憩いの森（上石神井）」などにも足をのぼすのであれば、農園やブドウ畑の間を縫うサイクリングも良い。
- \* 上石神井駅周辺には飲食店も多く、好みに合わせて選べる。

事業例：ねりまタウンサイクルの仕組みの検討（他地点での返却）

商品例 = 石神井公園一日行楽

- 石神井公園駅 石神井公園駅周辺の商店街 石神井池 三宝寺池 石神井公園駅（石神井川 練馬高野台駅）
- \* 石神井公園は、知名度が高いが、内容については知られていないことも少なくない。春の「照姫まつり」と併せて、歴史的なこと、水辺観察や遊歩道の自然観察、ポート遊びなど、一日中楽しめる要素を持っている。駅周辺には和食、中華料理、フランス料理、イタリア料理などレストランも揃っている。
- \* 桜の時期には石神井公園から練馬高野台駅までの石神井川の岸辺散策がお勧めである。

事業例：エリアガイドマップの作成

事業例：駅前観光案内板の設置

事業例：ボランティアガイドの活用

商品例 = 「こだわりとおしゃれ」、富士見台から中村橋へ

- 富士見台駅南口 富士見台駅周辺の商店街 富士見台駅北口 ガラクタ公園 中杉通り 中村橋駅周辺の商店街 中村橋駅
- \* 富士見台駅周辺には、酒屋、パン屋、肉屋などのこだわりの食品店や子供服の店があり、見て歩くだけでも楽しい。ガラクタ公園でひと休みし、おしゃれで活気のある中村橋駅周辺の商店街へ。
- \* 中村橋駅周辺には、練馬区立美術館があり、企画展が催されるので、企画展に合わ

せて出かけるのも楽しい。隣接のサンライフ練馬にはレストランもあるので、そこで休憩するのもよい。

事業例：エリアガイドマップの作成  
事業例：駅前観光案内板の設置

商品例 = 界隈性が楽しい練馬駅周辺

- 練馬駅（都営大江戸線 / 西武池袋線） 平成つつじ公園 練馬文化センター 駅周辺の商店街 練馬駅（豊島園駅）
- \* 練馬文化センターのホールでは年間を通じて演奏会などが開催されているので、区のホームページなどで確かめて立ち寄ってみる。
- \* 練馬区の中核といえる街である練馬駅周辺は、飲食店街や老舗など、「まち歩き」の楽しさがある。
- \* としまえん来訪者の誘引に向けて、向山庭園 白山神社（天然記念物の大ケヤキ） 銀杏並木 平成つつじ公園などの見どころを紹介し、コースの設定を図る。

事業例：エリアガイドマップの作成  
事業例：駅前観光案内板の設置

商品例 = 3つの大学の集まる学生街・江古田でお気に入りの店を見つける

- 江古田駅 武蔵野音楽大学楽器博物館 髪とかんざし館 江古田の富士塚 江古田駅周辺の商店街 江古田駅（桜台駅）
- \* 特色ある博物館とタイプの異なる3大学のキャンパスがある江古田駅周辺は、誰もが好みの店を見つけられる楽しめる街である。

事業例：エリアガイドマップの作成  
事業例：駅前観光案内板の設置

商品例 = 平和台から氷川台へ、静けさの散策を楽しむ

- 平和台駅（僧形馬頭観音） 平和台駅周辺の商店街 田柄川緑道 氷川台駅前 石神井川 城北中央公園（竪穴住居跡） 氷川台駅周辺の商店街 氷川台駅
- \* 平和台から氷川台にかけては、ところどころに野菜畑が広がる、のどかな風景の地区である。田柄川緑道から石神井川沿いに散策し、城北中央公園まで、静けさの中、

足を伸ばす。

- \* 氷川台駅から石神井川沿いに西方向に行くと、桜の名勝地の高稲荷公園がある。

事業例：エリアガイドマップの作成

事業例：駅前観光案内板の設置

商品例 = 旧街道沿いの元気な商店街と田柄川緑道散策

- 東武練馬駅 北町観音堂 田柄川緑道 北町の商店街 東武練馬駅
- \* 旧街道（川越街道）沿いの地域。趣のある観音堂や住宅街の中の静かな散策路と元気な商店街を覗いてみる楽しさ。
- \* 創業 100 年の園芸店、全国の銘酒を揃えた酒屋、激安カジュアルショップなどがあり商店街を歩いていると、いつの間にか手荷物が増える。

事業例：エリアガイドマップの作成

事業例：駅前観光案内板の設置

商品例 = 快適空間「光が丘」で過ごす

- 練馬春日町駅 夏の雲公園 光が丘駅周辺の商店街 光が丘公園 / 四季の香公園  
練馬春日町駅周辺の商店街 練馬春日町駅
- \* 「ねりまタウンサイクル」で、縦横に光が丘の快適空間を楽しむ。光が丘公園内には「バードサンクチュアリ」や「自然観察園」もあるが、様々な広場で気ままに楽しもう。イベントも頻繁に開催されている。また、近くのホテルに立ち寄り、ミニギャラリーの企画展を見たり、ティールームでひと休みするのも楽しい。夏の雲公園の「のびのび広場」や四季の香公園の「温室植物園」にも立ち寄りたい。帰路には練馬春日町駅周辺にある自家農園を持っている農園レストランや沖縄料理店などで食事が楽しめる。
- \* さわやかな気分で帰りたい人は、練馬春日町駅から約 1.2km にある「豊島園庭の湯」でひと風呂浴びて帰るのもよい。

事業例：ねりまタウンサイクルの活用

商品例 = 庚申塚めぐりで古の文化を偲ぶ

- 区内各地には 130 を越える庚申塚が残っている。郷土史研究家を中心とするボランティアガイドグループとともに庚申塚に伝わる民話・伝承を掘り起こし、コースの設定を検討して、区に伝わる民話・伝承シリーズを観光商品化する。
- \* 民間信仰の名残である庚申塚を巡りながら、地域の歴史物語を聞く。

事業例：ボランティアガイドの掌握と育成、組織化  
事業例：庚申塚マップづくり、コース運営の方策検討